



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所 東
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒澤 秀男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 総務・経理部部长 (氏名) 早川 恵 (TEL) 048-798-0222
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	652	18.8	81	—	89	—	61	454.6
2019年3月期第1四半期	548	△14.8	6	△46.2	5	△57.8	11	65.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第1四半期	23.14		—					
2019年3月期第1四半期	4.23		—					

(注) 2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,005	1,084	36.1
2019年3月期	2,900	1,086	37.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,084百万円 2019年3月期 1,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—				
2020年3月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。2019年3月期の第2四半期以前の配当金については、当該併合前の実際の配当額を記載しております。

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	1.8	85	△47.9	79	△50.2	60	△49.5	22.74
通期	3,000	0.3	219	△45.4	207	△48.5	150	△44.9	56.84

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	2,734,675株	2019年3月期	2,734,675株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	78,203株	2019年3月期	63,223株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	2,667,713株	2019年3月期1Q	2,631,697株

- (注) 1 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。
- 2 当社は「株式給付信託（従業員持株会処分型）」制度を導入しております。信託E口が所有する当社株式（2019年3月期58,600株、2020年3月期1Q54,800株）を期末自己株式数に含めております。また、信託E口が所有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2019年3月期1Q78,204株、2020年3月期1Q57,057株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6
(重要な後発事象)	6
3. 補足事項	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化や中東情勢の不安定化等による世界経済の下振れ懸念等により、景気の先行きに対する慎重な見方が顕著化し始めました。また、10月には消費税増税を控え、先行きは依然として不透明な状況が続くことが予想されます。

当社が関係するプラスチック加工業界は、原油高によるナフサ価格上昇に伴い、原材料である合成樹脂の価格上昇が続き、今後益々の合理化を進め、競争力を高めなければならない状況にあり、当社としても更なる省エネルギー、省力化の製品の開発を提案して行く方向にあります。

このような状況下、売上高につきましてはインフレーション成形機事業、ブロー成形機事業、リサイクル装置事業共に、前年同四半期に比して大型機も含め納入検収が順調に進み増加しました。利益面につきましては、継続的に推し進めております原価率改善への取組の効果により、インフレーション成形機事業、ブロー成形機事業、リサイクル装置事業共に、前年同四半期に比して増益となりました。付加価値の高い成形機の生産と主要部品を中心とした内製化、積極的な業務改善により、設計、加工段階での効率化、高品質化を進め、更なるコストダウンを図った結果、利益率が大きく改善しております。設備投資の面では、今後も部品の内製化の多様化を推し進めるため、最新工作機械の導入を検討するなど、積極的な設備投資を継続的に進めております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、6億5千2百万円と前年同四半期と比べ1億3百万円増加(前年同四半期比18.8%増)し、利益面につきましては、営業利益8千1百万円(前年同四半期6百万円)、経常利益8千9百万円(前年同四半期5百万円)、四半期純利益につきましては、6千1百万円(前年同四半期1千1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期累計期間における総資産は、前事業年度末と比較して1億5百万円増加し、30億5百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が2億3百万円減少した一方で、現金及び預金が1億3千3百万円、棚卸資産が9千2百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末と比較して1億7百万円増加し、19億2千1百万円となりました。これは主に未払法人税等が8千4百万円、借入金が4千3百万円減少した一方で、前受金が2億6千5百万円、支払手形及び買掛金が3千9百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、前事業年度末と比較して2百万円減少し、10億8千4百万円となりました。これは主に、当第1四半期純利益6千1百万円を計上しましたが、自己株式が取得と売却により9百万円増加(純資産の減少)し、配当金の支払額5千4百万円を計上したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2019年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	750,675	883,813
受取手形及び売掛金	949,482	745,898
たな卸資産	217,951	309,959
その他	40,570	140,002
貸倒引当金	△430	△375
流動資産合計	1,958,250	2,079,297
固定資産		
有形固定資産		
土地	458,809	458,809
その他(純額)	307,872	298,710
有形固定資産合計	766,682	757,520
無形固定資産	42,344	38,780
投資その他の資産		
その他	143,823	140,871
貸倒引当金	△13,600	△13,620
投資その他の資産合計	130,223	127,251
固定資産合計	939,250	923,552
繰延資産	3,066	2,895
資産合計	2,900,567	3,005,744
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	436,606	476,430
短期借入金	162,120	162,120
前受金	132,098	397,572
未払法人税等	115,384	30,833
製品保証引当金	16,514	17,232
引当金	21,536	6,961
その他	239,308	193,175
流動負債合計	1,123,567	1,284,324
固定負債		
社債	150,100	150,100
長期借入金	377,516	334,377
引当金	14,948	15,355
その他	147,837	137,452
固定負債合計	690,402	637,285
負債合計	1,813,969	1,921,609

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	519,624	519,624
資本剰余金	126,214	126,214
利益剰余金	386,525	393,669
自己株式	△62,982	△72,356
株主資本合計	969,381	967,151
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,010	△1,242
土地再評価差額金	118,226	118,226
評価・換算差額等合計	117,216	116,984
純資産合計	1,086,598	1,084,135
負債純資産合計	2,900,567	3,005,744

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	548,985	652,376
売上原価	391,836	408,589
売上総利益	157,149	243,787
販売費及び一般管理費	150,558	162,348
営業利益	6,591	81,438
営業外収益		
物品売却益	503	127
為替差益	—	855
受取地代家賃	—	7,720
受取保証料	1,023	1,023
その他	452	325
営業外収益合計	1,978	10,052
営業外費用		
支払利息	834	857
為替差損	1,020	—
売上割引	624	288
その他	300	465
営業外費用合計	2,779	1,610
経常利益	5,790	89,880
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	7,260	—
特別利益合計	7,260	—
税引前四半期純利益	13,050	89,880
法人税、住民税及び事業税	340	28,132
法人税等調整額	1,576	5
法人税等合計	1,917	28,137
四半期純利益	11,133	61,742

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	54,599	20.00	2019年 3月31日	2019年 6月28日

(注) 1 2019年6月27日定時株主総会の決議による配当金の総額には、信託E口が保有する当社株式に対する配当金1,172千円が含まれております。

2 1株当たり配当額には第60期記念配当5円が含まれております。

2. 株主資本の著しい変動

2019年5月14日開催の取締役会の決議等により、自己株式18,780株を13,125千円にて取得し、「株式給付信託制度(従業員持株会処分型)」による自己株式の従業員持株会への売却3,800株、3,751千円(売却原価)を行っております。この結果、当第1四半期会計期間末において自己株式が72,356千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

自己株式の取得

当社は、2019年5月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、下記のとおり自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするとともに、株主還元強化及び資本効率の向上を図るため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類：当社普通株式

(2) 取得する株式の総数：75,000株(上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.74%)

(3) 株式の取得価額の総額：50,000千円(上限)

(4) 取得期間：2019年5月20日～2019年11月29日

(5) 取得方法：東京証券取引所における市場買付

3. 上記取締役会決議に基づき当第1四半期累計期間に取得した自己株式(2019年6月30日時点)

(1) 取得した株式の総数：18,700株

(2) 株式の取得価額の総額：13,074千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足事項

(1) 生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	472,022	78.6
ブロー成形機事業	62,064	64.2
リサイクル装置事業	18,060	△21.1
合 計	552,146	69.9

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	360,248	△10.2	788,088	8.1
ブロー成形機事業	109,755	△10.7	799,065	278.2
リサイクル装置事業	48,140	423.3	49,040	79.0
合 計	518,143	△2.8	1,636,193	69.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	406,802	23.3
ブロー成形機事業	110,547	21.4
リサイクル装置事業	18,060	128.6
メンテナンス事業	116,966	△2.6
合 計	652,376	18.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。